

Weekly Report
No.2333



イマジンロータリー
2022-23 年度
国際ロータリーテーマ

Hashima Rotary

2022-23 年度 会長方針

「ロータリーの回帰・研修・改革」

会長 岩田 勝美 幹事 林 秀樹 会報委員長 平松 暁仁

Rotary 事務所：〒501-6255 羽島市福寿町浅平 3-106 TEL (058) 392-2888 FAX (058) 391-2260
例会日：毎週火曜日 12:30~13:30 例会場：西松亭 E-mail：hashima@ccn.aitai.ne.jp

本日のプログラム

第 2612 回 2023 年 2 月 21 日(火)
『第 3 回クラブ協議会①』 * 発表予定委員会
* 職業奉仕 * 広報組織強化
* 奉仕プロジェクト * 管理運営
* 支援プログラム

次回例会のご案内

第 2613 回 2023 年 2 月 28 日(火)
『第 3 回クラブ協議会②』 * 発表予定
* R 財団 * 副会長 * 新会員
* 会長エレクト * 会計 * 地区委員
* 直前会長 * S A A

《Zoom 例会中継のご案内》 ID : 556-098-4805 / パスワード : 4361 例会欠席の際はぜひご視聴ください

前回例会の記録

第 2611 回 2023 年 2 月 14 日(火)
◎例会前、会長幹事懇談会 11:30~12:15
『ガバナー補佐訪問』
国際ロータリー第 2630 地区
岐阜西濃グループガバナー補佐 岩田 勝司様

会長の時間



会長 岩田 勝美

本日は今期 2 回目のガバナー補佐訪問です。岩田勝司ガバナー補佐、宜しくお願い致します。大垣中 RC の中村一ガバナー補佐エレクトも、勉強の為、同行されました。先週は年に一度全国の友人が銀座に集まる会合の為欠席させて頂き、柳原会長エレクトに代打をお願いしました。その際、豊田ジャンクションを静岡方面に進んだ所で、白のクラウンに止められまして、国家財政に協力しましたが、高速道路では 40 キロまでは青切符だったのが不幸中?の幸いででした。新東名は全線制限速度 120 キロだと思っていましたが、静岡県内だけだそうです。私は、豊田ジャンクションから新東名だと思っていましたが、まだ伊勢湾岸だそうです。

会長幹事懇談会



来客紹介



国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー補佐
岩田 勝司様
次期ガバナー補佐
中村 一様

先程行われたガバナー補佐との懇談会では、クラブの問題点について交換留学生の相手国の審査方法に問題は無いかといった話題が出ましたが、私は過去 4 人ホストしましたが、今回は特別と本音のお話をしました。

後程、堀研修情報委員長から 1 月 28 日行われた「地区

研修リーダーセミナー」の報告があります。先程の懇談会でも研修の必要性のお話が出ましたが、今日例会後、TMS（10 分間セミナー）が開催されます。私も出席させていただきます。

ガバナー補佐卓話



国際ロータリー第 2630 地区
岐阜西濃グループ

ガバナー補佐 岩田 勝司様

今日は、二回目で最後のクラブ訪問です。昨年度 AG サンリバーの後藤さんは、コロナで10月のIMも2月のクラブ訪問もできませんでしたから私は、同行させていただくこともなく、蓋を開けた7月にいきなり各クラブ訪問でときどきでした。本年は、ご都合のつく日程の3クラブですが次期 AG の中村さんに同行していただきます。

私の仕事は、ガバナーのアシスタントです。西濃グループの合同例会の際皆さんには直接高橋ガバナーの話を聞いていただきました。ガバナーも皆さんにお伝えしたいことが山盛りでした。今日は、アシスタントの立場から、もう一度高橋ガバナーはこんなこと言いたいのかなと私が思うところの話を一つだけさせていただきます。

実は、一年前の二月のAG、CC会議を皮切りに、AGはほとんどの行事に参加が必須ですから参加してきました。各クラブから1~2名参加のいろんなセミナーのすべてに（一つだけ欠席しましたが）参加させていただきました。勉強になりました。

地区大会におけるすべての方の講演は大変印象深かったし、先日の月信にも報告されていますインフォフォームの社長の講演や、イエローハットさんの天秤棒、近江商人の話の映画やらどれもこれも参加して良かったなと思っています。私は、各クラブを代表して各セミナーに参加された皆さんが各クラブに持ち帰りセミナー内容を活用されていることはありがたい限りと思います。

ところで、高橋ガバナーは最も直接参加人数の多い地区大会が開催できて、講演内容も良く、大成功させていた

ただきありがとうございましたと述べていらっしゃいます。

今回大会当日、朝早くにガバナー補佐全員の招集がかりその日のステージ上の立ち位置のリハーサルがありました。驚いたのは、幹事クラブの岐阜クラブの皆さんが朝早くから出勤していらっしゃったことです。大会運営クラブは大変です。

さて、今年度ガバナーは岐阜、次年度は多治見、その次は名張からガバナーが出ます。全く私のつぶやきですが、いずれ西濃グループもまた地区大会開催の責任があるのではないかと考えています。なので、いずれどこのクラブさんが手を挙げられたら皆さんで応援したいと思います。

ところで、規模が全く違いますが、ガバナーにとっての地区大会と同様なのが、ガバナー補佐にとってのIMです。ほんとに今年度IMが開催できましたこと有難く思っています。皆さんに感謝します。当日羽島クラブご発表の松田さんにはお世話かけました。

さて、本年度IMのテーマとしました4つのテストの「みんなのためになるかどうか」、私はいつも「誰かのためになるか」と読み替えています。このフレーズがあるから私いまだにロータリーを続けていられると思っています。

私が、なんでロータリークラブに在籍させてもらっているのかなと思うとき、アフリカのマラリヤと戦う人たちや字の読めない人たちへの支援も間接的にできているわけだし、あるいは自分の会社の従業員さんたちのためにとか、自分のできる範囲で「誰かのために」と考えることのできる活動ができるからだと思います。

クラブ研修リーダーセミナー報告

R研修情報委員長 堀 雅利



日時：令和5年1月28日（土）

場所：名鉄グランドホテル

去る1月28日名鉄グランドホテルにて、クラブ研修リーダーセミナーに参加してまいりました。コロナにより、辻ガバナー時代以来行えていませんでしたが、昨年、

数年振りに研修セミナーを行いました。が、岩田委員長がコロナに罹患され欠席でしたので、実質的なスタートとなる2回目のセミナーとなりました。

今回は、岩田委員長より、一方的に話を聞くだけでなく参加型のセミナーにしたいという趣旨から多くのディスカッションが行われました。

以下、要点を会員の皆様にお知らせいたします。

R I は戦略的に色々な施策を行っているものの会員が減ってきている困難な時代となっており、毎年15万人が入り、それ以上の会員が退会をしている。

退会のほとんどが入会3年未満。ロータリーをわからないまま、あまり良い印象を持たないままに退会となっている。

会員数はロータリー先進国が減少し、後進国が伸びて全体をキープしているという状況で、現在はアメリカがトップですが、近い将来インドがアメリカを抜くと思われれます。これにはグローバル補助金の被支援国として後進国の参加が伸びているという裏事情があり、問題視されています。

それに対し、ロータリーは時代の変化に合わせて変わらなければならない、とR I 理事は語っています。

高橋ガバナーより。

何故低迷の時期を迎えているのか分析してみた所、ロータリーとしての魅力が低下しているのではないかと考える。

それには、入会してきた会員たちが期待している価値観の提供が来ているか、また、会員全体に奉仕の理念に対する誇りが失われてきているのではないかと。

日本ロータリー100周年実行委員会が新入会員に対し、ロータリー入会にあたって期待している事というアンケートを実施しました。その期待する価値は、自己研鑽、学習、成長の期待というものだったそうです。

ロータリーには、自己の成長と事業の発展、人生を豊かにするという使命があります。

会長、幹事、クラブリーダー、クラブ研修リーダーがそれを行う必要があります、地区研修リーダー設置を義務付け、クラブ研修リーダーの設置の奨励をしています。会長以下全員が協力し研修を行い、退会防止に努めて下さい。

会員増強と退会防止は車の両輪であり、ロータリーは心を育て、人を育てます。

クラブの究極の目的は素晴らしい真のロータリアンを育てることです。

RI は人道支援活動に軸足を置きボランティアに傾倒しています、私はこれではクラブや人を育てる事は出来ないと警視しています。社交クラブだけであり、崩壊につながっていく可能性があります。親睦と共に「学びに」力を注ぎ、地区の研修に頼るだけでなくクラブ主催

の勉強会を行い原点を共に学んで追求して欲しい。

増強のポイントは、組織の魅力と人の魅力です、魅力あるクラブが会員増強につながります。

「頭を下げてクラブに入ってもらっているようではだめだ、ロータリークラブに入りたいと思わせていないとだめだ。」とゆう話を聞きますが、その前に魅力あるクラブ会員で構成された魅力あるクラブとなれているかどうか今一度見つめなおしていただきたい。研修をしっかりと行い、人を育て魅力あるクラブとしてほしい。

劔田パストガバナーより。

会長をはじめとした指導者による研修をしっかりと行っていますか？

ロータリーの知識と指導力をもつ質の高い例会が退会防止に役立つ。団体の真の目的を知らずに入会する人が多くいますが、知識の乏しいクラブでは退会につながってしまう。

奉仕の哲学の追求に熱心なクラブとそうでないクラブがあるようです、全クラブが奉仕の哲学の追求にいそしんでもらいたい。

新会員の入会の動機の多くは社会的な付き合いによってだと思われるが、結果、人間性を高めたいと思入会してくる。その熱意を裏切らないクラブであって欲しい。勉強とはなにか、エゴとの決別、寛容・忍耐である。

ロータリーとはなにか？100人に聞かれたら100様の答えがあつて良いと思う。

それぞれのロータリアンにとっての本質はなにか？というのを勉強し続けなければならない。

決議23-34、ロータリーとはひとつの人生哲学である

人生の目的は心を高め魂をみがくこと、その為には利他の心を磨くこと、である。

辻パストガバナーより。

43年在籍してなるほど、と思うことがありました。

地区の代表している時に質問されました、ロータリーっていいことする団体だよな？なんでいいことするのになんで勉強しなあかんのや？これが全てだと思う。

財団の存在は国によって立場が違う、それをスタンダードにする為にR I は動いている。が、国や地区によって価値観はちがってくる。ロータリーの精神にもとづきながら地区それぞれに事情をもってクラブは存在しています。各クラブで出来ること、各個人が出来ることは変わってくると思います。それを実行していく為には、理念だけではなく歴史や制度、最低限の勉強は必要なのである。

ロータリアン、ひとりひとりがとても大事な役割があるんだよと。

次の一秒はもう今。最後にいきつく所は子供達の笑顔。

その為にそのクラブの周囲に合わせた役割や存在について、前向きに勉強を行うのがセミナーではないか。

浦田パストガバナーより。

ロータリーの究極は地域社会に敬愛される人をクラブとして育てあげることだと思います。

そのためにどうするか、皆でロータリーを理解するんです。

社会や地域で貢献する為には、歴史も知って考えも知って、その上で社会に貢献する必要があるんです。その為には会長幹事や研修リーダーが中心となり、クラブ内の研修に勤しんで下さい。

委員会報告

出席委員会

・本日の出席率
出席規定会員数 33名中 26名 78.79%

ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX
◆国際ロータリー第2630地区岐阜西濃グループ
2022-23年度ガバナー補佐 岩田 勝司様
2023-24年度ガバナー補佐 中村 一様

◆岩田 勝美君 林 秀樹君 西松 永根君
川崎 正一君 佐溝 勝樹君 南谷 茂伸君
平松 暁仁君 辻井 晃君 梁 麗娜さん
久米 勉君 松田 和彦君 青木 秀益君
天野 洋和君 杉山 大地君 青木まき子さん
堀 雅利君 虫賀 大輔君 柳原 望成君
荒木 義男君 佐藤 裕昭君 木寺 祐樹君
小椋由美子さん 山下 正弘君
第2611回 例会前、会長幹事懇談会
「ガバナー補佐訪問」国際ロータリー第2630地区岐阜西濃グループガバナー補佐 岩田 勝司様、次期ガバナー補佐 中村 一様、ようこそお越し下さいました。

◎仕合せ貯金
岩田 勝美君 加藤 宗雄君 梁 麗娜さん
堀 雅利君 荒木 義男君 南谷 茂伸君

.....



本日の例会の食事



幹事報告 (第2611回)

- 次回例会は2月21日(火)
『第3回クラブ協議会 §1』
- 2月17日(金)は19:00~西松亭にて
第3回IDMが開催
R研修情報委員:松田 / リーダー:野中
- 回覧内容
 - ①3/7(火) 夜間例会・新会員歓迎会・チャリティーゴルフ 壮行会 出欠確認名簿
 - ②3/14(火) 仕合せ事業「双樹園」出欠確認名簿
 - ③2023~2024年度ロータリー手帳 注文用名簿
 - ④メルボルン国際大会のご案内と登録のお願い
 - ⑤「第21回ロータリー全国囲碁大会」のご案内
 - ⑥2022年 手続き要覧

《第8回 理事役員会 承認事項》

- 3月のプログラムについて **承認**
- 4月10日(月) ガバナー杯チャリティーゴルフ 壮行会について
3月7日(火) 第1例会時(夜間)に開催

地区IAC委員会 報告

地区インターアクト委員会 委員 荒木 義男

日時: 令和5年2月5日(日) 12:00~16:00
場所: 大垣フォーラムホテル

- ・次年度韓国派遣交流事業について
韓国の国際ロータリー第3600地区を訪問。
3月20日に地区事務所より募集要項発送。クラブより各校へ募集要項を持参し、案内を行う。
次年度の募集人員は10名(例年は30名)
5月28日 最終面接を行い、派遣生徒決定
訪問日程 8月4日~8日(計5日間)
- ・インターアクトクラブ岐阜西濃グループ協議会について
第2630地区内33校のインターアクトクラブがある。
三重・岐阜西濃・飛騨東農中濃の3グループに分かれて毎年協議会を開催。
羽島RCは、2025-26年度に羽島北高等学校のスポンサークラブとして、協議会を開催することが決定。
- ・インターアクトクラブ 年次大会の開催について
インターアクトクラブを設立したロータリークラブは、慣例的にその5年後に年次大会を開催する。
第2630地区のインターアクトクラブが一堂に会し、韓国からの交流派遣生徒も参加する盛大な行事。
2028-29年度に、羽島RCがスポンサークラブとして年次大会を開催することが決定。